



平成 23 年度の使用種籾は、古代米と言われる大分県クラシックファームさんの「イセヒカリ」。
1 日平均温度が、10～12 度を超える、GW 明けあたりから始める。
地域の季節柄によって開始時期が異なるため近所の田んぼを参考にすると良い。
土の上に種籾をまく。土は、生ゴミ等を堆肥化したものが良い。(作り方：月刊みんなのうけひのもり参照)



土の下、2センチ程度へ種粃を指で押し込む。
土をかぶせる。



水をたっぷりやり、ある程度の芽がでてくるまで不織布などで覆う。
直接、土に種籾を蒔いた場合、豆類の種と同じように、鳥が食べに来ることがあります。
その為、ある程度の芽がでるまで、不織布などをかぶせておくと良い。



参考：写真右程度の芽がでてくるまで。

陸稲は、フツウの家庭菜園での野菜を育てるよう、芽が出るまで土の乾燥に気をつけることが大切です。



注意点：－

乾燥に気をつける。日当たりの良いところで育てる。

写真について：－

写真は、ネリカ米、コシヒカリ (あいがも農法で収穫した粳米使用)、トヨハタモチ (陸稲用)